

前橋市 水道事業・下水道事業
令和3年度決算の概要

目 次

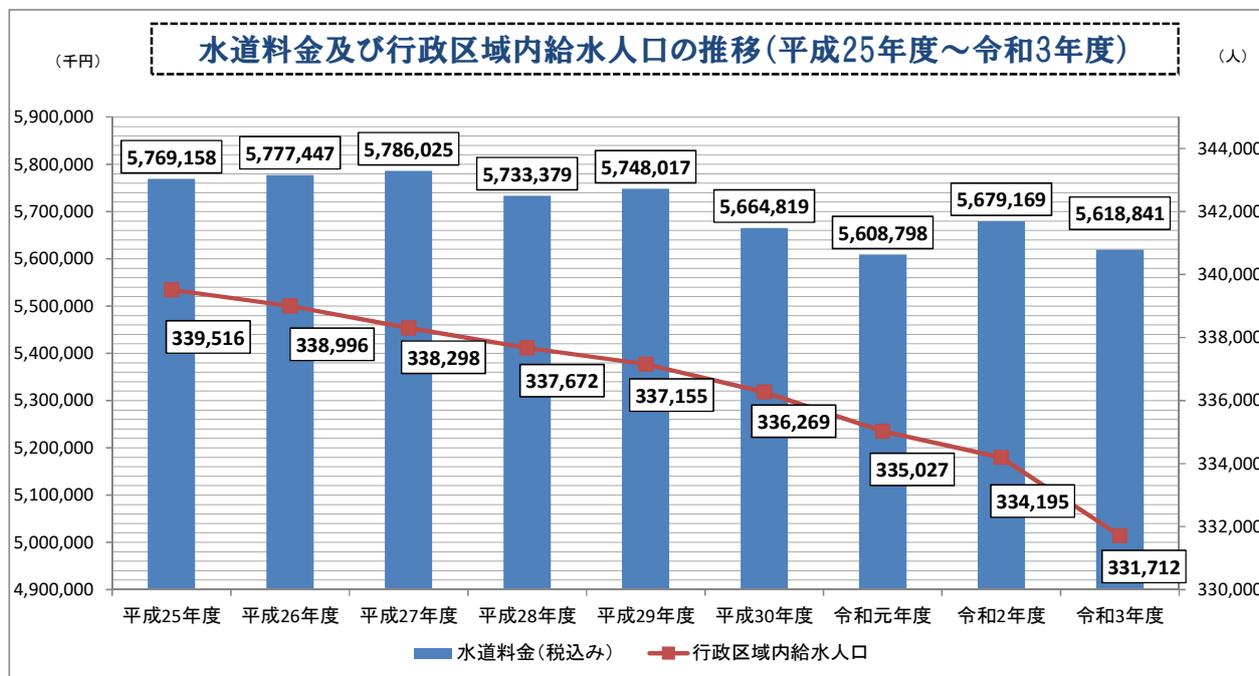
- ・水道料金、下水道使用料などの推移 …… 1
- ・水道事業の令和3年度決算の概要 …… 2～3
- ・下水道事業の令和3年度決算の概要 …… 4～5

水道料金、下水道使用料や人口などの推移

水道料金（56億 1,884万円）

水道事業収入の大半を占める水道料金については、税込額では前年度に比べ約6,033万円の減少となり、56億 1,884万円の収入となりました。

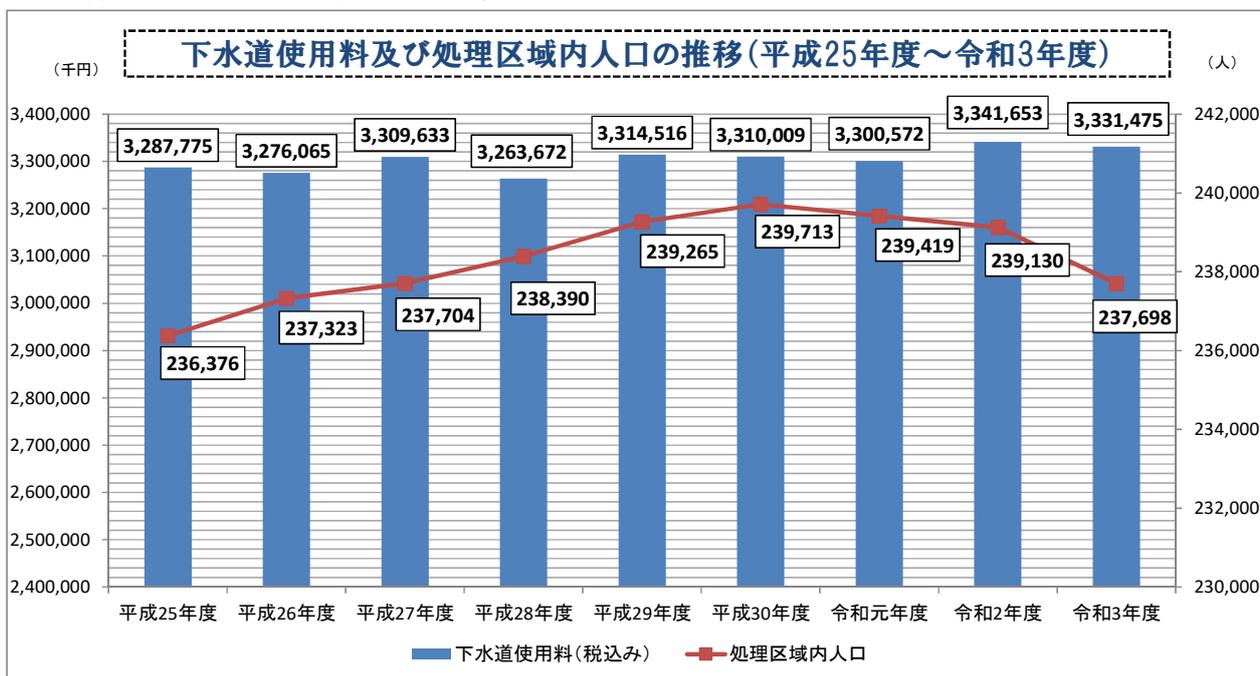
今後、節水機器の普及や水需要の減少するなか、配管や施設の老朽化対策工事などに着手する必要があるため、引き続き経費節減と経営の効率化に努める必要があります。



下水道使用料（33億 3,147万円）

下水道使用料については、税込額では前年度に比べ約1,018万円の減少となり、33億 3,147万円の収入となりました。税抜額も前年度より減少して、30億 2,861万円となりました。

処理区域内人口は前年度に比べ約1,400人減少し、水道使用量の減少等により下水道使用料も減少傾向になります。安定的な経営のためには、さらなる経費節減や計画的な更新に努めるほか、将来の下水道使用料の改定を視野に入れる必要があります。



水道事業会計の主な事業(令和3年度決算)(税込み)

重要給水施設管路耐震化事業(2億2,483万円)

地域防災計画等を参考に、災害時に特に重要と考えられる施設(災害拠点病院4箇所、災害対策本部など9箇所)を重要給水施設と位置づけ、災害時でも給水できるように供給ルートの耐震化を図ります。

令和3年度は群馬県庁へ続く管路の耐震化業務が完了しました。

【重要給水施設】

①群馬県庁②前橋市役所③消防局中央消防署④水道局⑤大胡支所⑥宮城支所⑦粕川支所⑧富士見支所⑨グリーンドーム前橋⑩前橋赤十字病院⑪群馬大学病院⑫済生会病院⑬群馬中央病院

【R3年度時点工事完了箇所】①、④、⑨、⑪、⑬

県央水道受水費(18億8,464万円)

配水の割合 自己水(地下水) 44.0%(前年度は44.3%)
県央水(表流水) 56.0%(" 55.7%)

県央第一水道 39.6%(単価:50円/m³(税抜))

県央第二水道 16.4%(単価:100円/m³(税抜)) ※県央第二水道の単価は令和2年4月1日から102円→100円になりました。

施設等更新事業(2億7,046万円)

水道ビジョン(H27~R11年度計画)に基づき、浄水施設等の更新を進めました。老朽化が進んでいる浄水場等を計画的に更新を行うことで、強靱な水道を構築するとともに、施設の統廃合等を検討し、水道事業の効率化を図ります。

【主な更新事業】

①荻窪受水場の築造工事(8,743万円)

総額4億2,378万円<R3~R5年の3か年で実施>

R3年度 8,743万円

R4年度 2億306万円(予定)

R5年度 1億3,329万円(予定)

②敷島浄水場詳細設計業務(6,773万円)

新型コロナウイルス感染症の影響で設計期間R1~R2年予定だったものがR3年度に繰越した委託業務

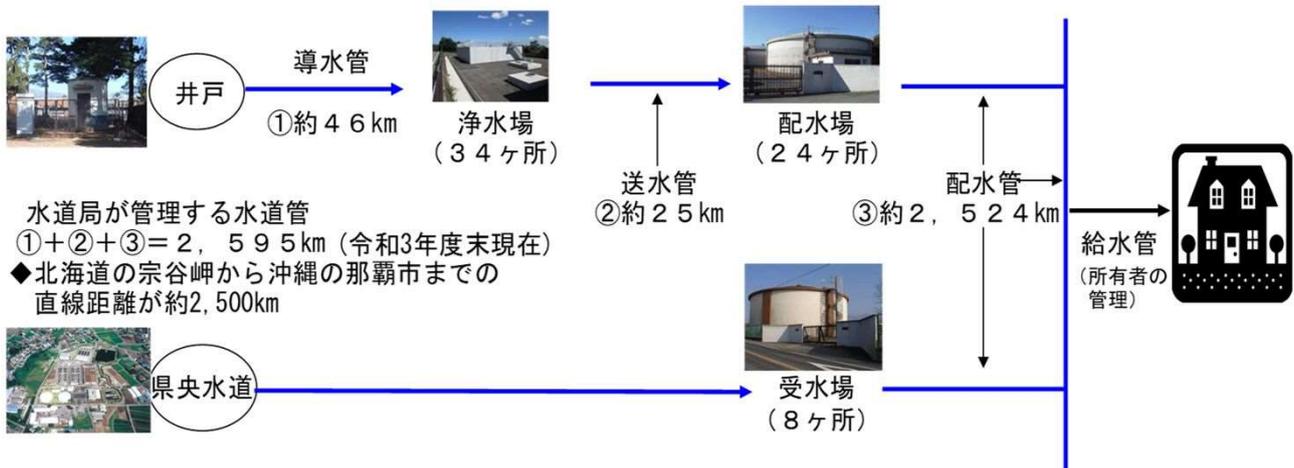
R1年度繰越分 1,947万円

R2年度繰越分 4,826万円

配水管等改良事業(9億3,823万円)

浄水場施設等改良工事(1億6,847万円)

老朽配水管の布設替工事、都市計画事業や下水道事業など他の事業に関連した配水管の布設替工事、市民の方々からの要望による配水管の新設や水圧増強工事などを実施しました。また、各浄水場の計装設備改修工事などをはじめとした浄水場施設等改良工事を実施しました。



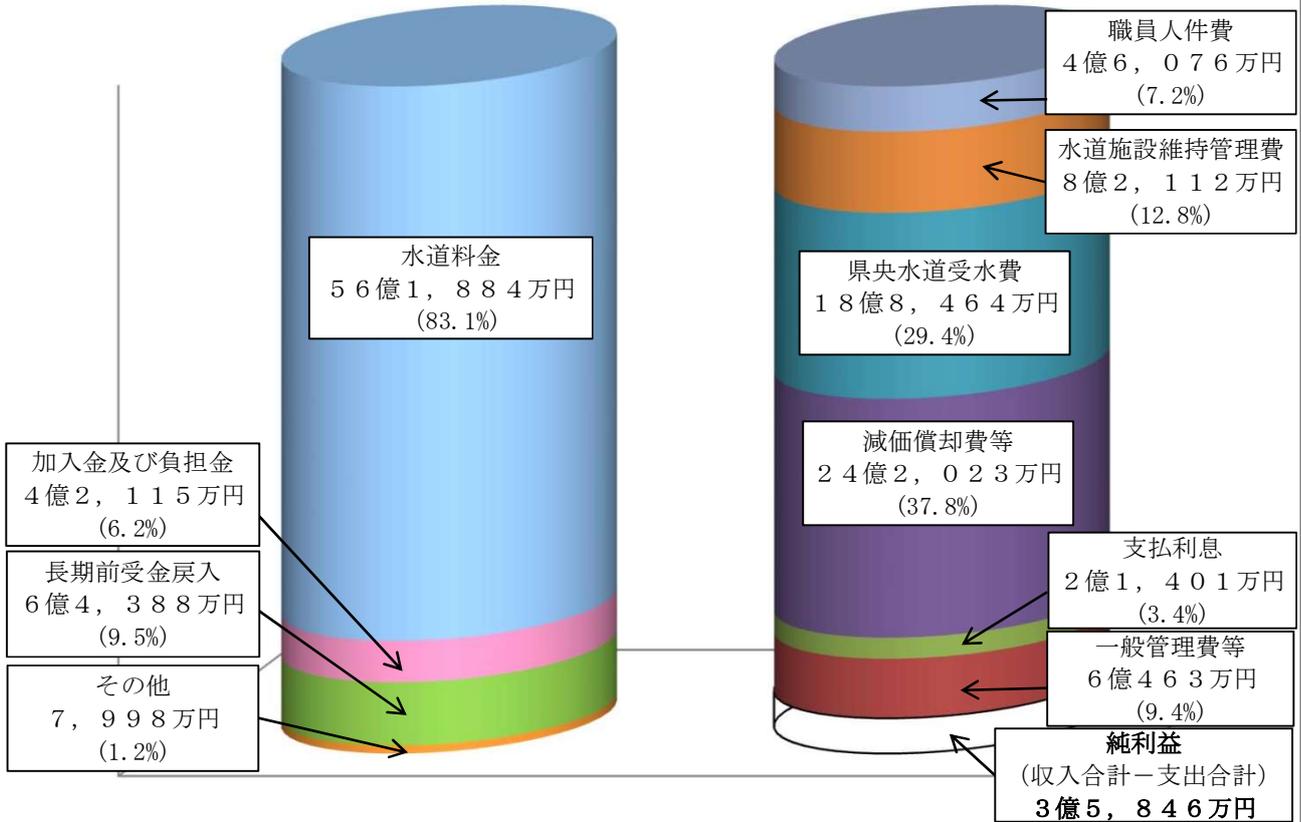
税込み

【収益的収支】・経常的な収支の状況

()内は構成比

収入合計 67億6,385万円

支出合計 64億539万円



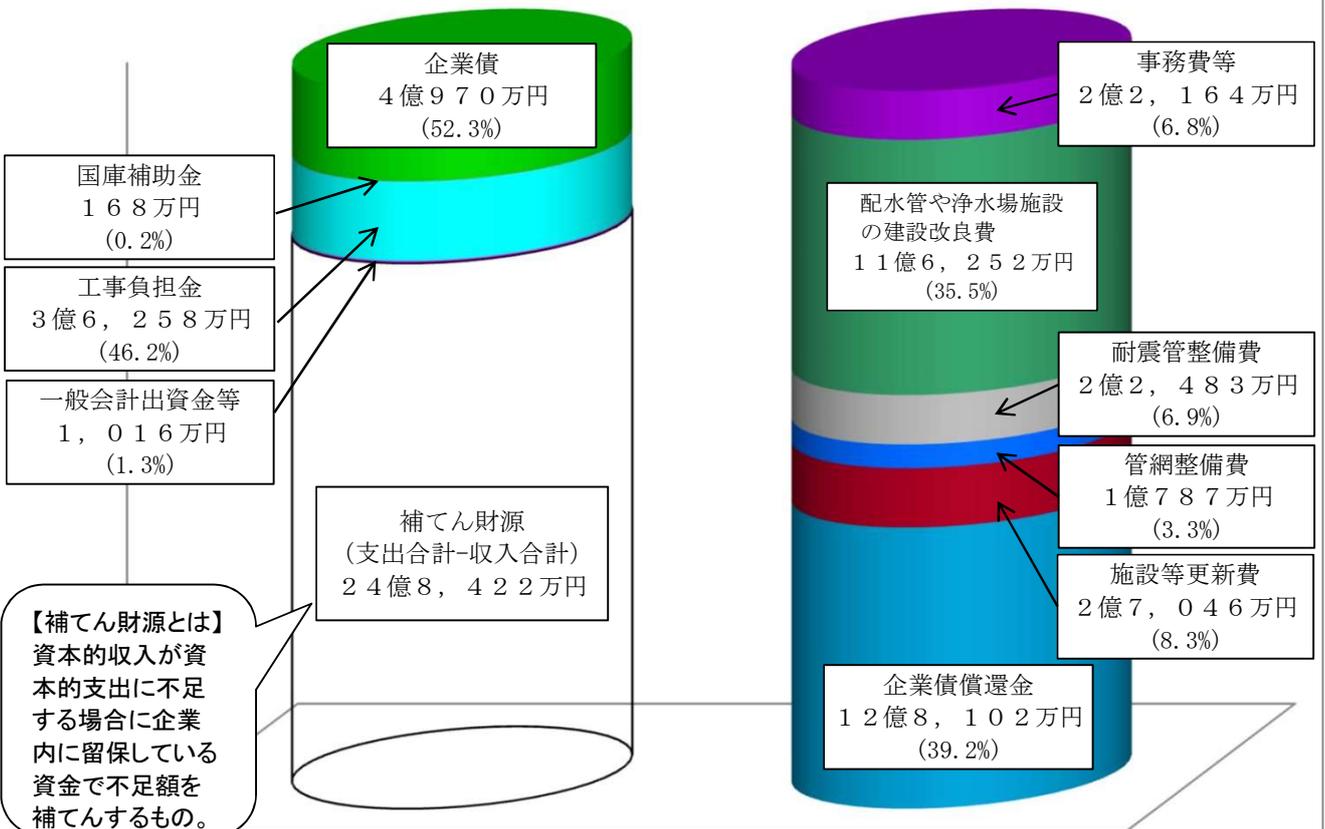
税込み

【資本的収支】・投資的な収支の状況

()内は構成比

収入合計 7億8,412万円
(補てん財源を除いた合計)

支出合計 32億6,834万円



令和3年度 下水道事業会計決算の概要

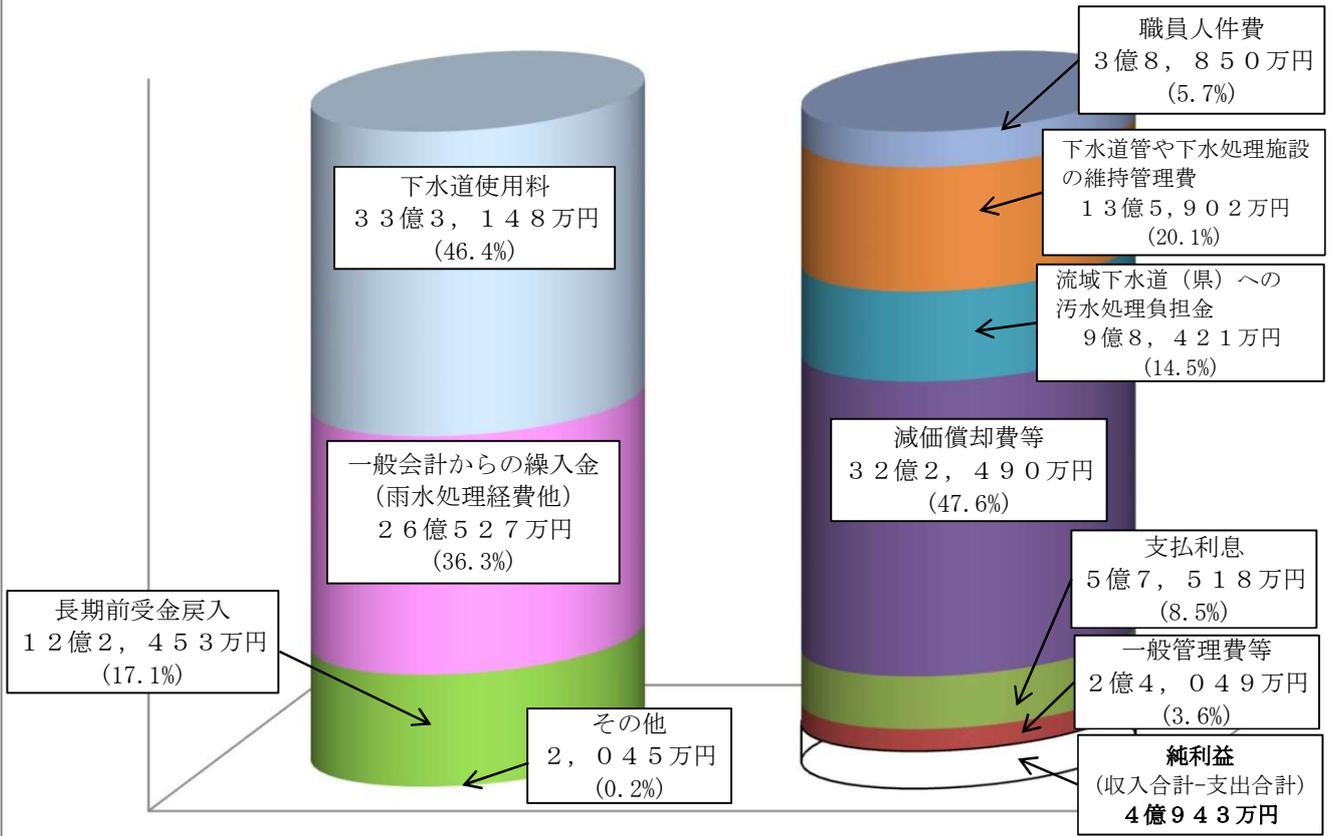
税込み

【収益的収支】・経常的な収支の状況

()内は構成比

収入合計 71億8,173万円

支出合計 67億7,230万円



税込み

【資本的収支】・投資的な収支の状況

()内は構成比

収入合計 28億6,206万円
(補てん財源を除いた合計)

支出合計 53億5,634万円

